

2024_0506「雨の日の母ムササビ（動画）」日々の理科 3560号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

夜は外を飛び回って餌探し、昼は昼で寝ながら授乳と、ほとんど24時間働きっぱなしの母ムササビ。まだ子が小さいうちは、明るい間は決して巣箱から出ないし、巣箱口から顔を出すこともめったにありません。

しかし雨の日だけはちがいます。どうもこの母ムササビは、私と同じで雨が好きなようなのです。朝から雨の日に、試しに巣箱口を「どアップ」にして、カメラで狙ってみました。果たして母ムササビが顔を出して、ポーンっつと雨や空を眺めていました。ムササビはネズミの仲間（ネズミ目／齧歯目）ですが、こうしてアップで見ると、ネコの顔にも似ています。ムササビは日本固有種です。顔の白いラインが特徴で、正式な種名（和名）は「ホオジロムササビ」といいます。

(2024年5月上旬／北軽井沢／遠隔撮影)

